

# 日本の大学が生き残るためのITデータ利活用 ～大学経営に情報を活用する～

日時：2018年12月13日（木）

会場：Innovation Space DEJIMA

少子化など大学を取り巻く環境が大きく変化するに従って、教育の質の向上を目的とした「大学IR（Institutional Research）」の必要性が取り沙汰され、新たにIR組織を設置する大学も増えていきます。「データを情報に変換し意思決定する」大学はまさに企業経営と同じことを求められており、データの重要性が認識されています。しかし一方で、予算措置がなくIRのベースとなるデータの収集と整理が不十分であり、ステークホルダーが複雑なためにうまく進まない現状が散見されます。

このような状況を打ち破るためにどこからどのように手をつけていくべきか、個々の事例を踏まえながらこれからの方向性を探ります。

## 開催日時

2018年12月13日（木） 13:30～17:30

\* 受付開始 13:10

（情報交換会 17:45～19:15）

## 参加費

参加費無料

※講演資料集は、CAUA会員は無料、会員外は¥1,000（資料集は希望者のみ）

※情報交換会は会費制（CAUA会員・大学教職員…¥1,000、その他…¥2,000）

## 定員

60名（事前申込み制）

※教育機関の関係者および産学連携・人材育成に興味のある方

申込多数の場合、CAUA会員の方を優先させていただきます

## お申込方法

[Web] <https://ctc-form.jp/public/seminar/view/1151>[eMail] [caua-ad@ctc-g.co.jp](mailto:caua-ad@ctc-g.co.jp) 宛に「組織名」「氏名」をお送りください

## 持ち物

お名刺2枚

※ビル管理者への提出及び、当日の名札として使用させていただきます

## 会場案内

## Innovation Space DEJIMA

住所 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア13F

電話 03-5789-2350

URL <https://dejima.space/>

## 交通アクセス

- JR 大崎駅 東口 徒歩6分
- JR 五反田駅 東口 徒歩5分
- 東急池上線 五反田駅 東口 徒歩5分

CAUA事務局

URL <http://www.ctc-g.co.jp/~caua/>e-Mail [caua-ad@ctc-g.co.jp](mailto:caua-ad@ctc-g.co.jp)

（事務局長：中島 淑乃）

TEL 03-6203-4411

FAX 03-3501-5033

# プログラム

13:30- 13:40	<p><b>【オープニング】</b> 後藤 滋樹氏（早稲田大学理工学術院基幹理工学部 教授、CAUA会長）</p>
13:40- 14:30	<p><b>【基調講演】</b> <b>「日本における大学IRの現状と課題 ～現場のデータを大学の意志決定に活かす難しさ～」</b> 船守 美穂氏（国立情報学研究所 情報社会相関研究系 准教授）</p> <p>文部科学省の政策誘導により、IR担当やIR組織を設ける大学が拡大していますが、本来IRが目的としたはずの「エビデンスに基づく意志決定」に十分に繋がっていません。本講演では、国内IRの現状と課題を分析します。</p>
	休憩（10分）
14:40- 15:30	<p><b>【特別講演】</b> <b>「データをマネジメントに活かすためには何が重要か ～高等教育やビジネスを取り巻く環境から組織文化を考える～」</b> 福島 真司氏（大正大学 学長補佐 EMIR研所長 地域創生学部 教授）</p> <p>意思決定支援が求められるIRの実現には、データ分析技術や機能だけでは事足りません。PDCAサイクルに活用させるコミュニケーション力やステークホルダーと共感する力等、オーケストレーションが成否を握っていると言えます。IRを取り巻く追い風とも言える政策誘導の現状と課題、そして、先進企業が設置を始めたCDO(Chief Digital OfficerあるいはChief Data Officer)への期待等、高等教育やビジネスの最前線を事例に、データを真に活かす組織文化について議論します。</p>
	休憩（10分）
15:40- 16:00	<p><b>【パネリスト講演①】</b> <b>「基盤情報の重要性 ～IRとの連携のために～」</b> 水野 信也氏（静岡理工科大学 情報学部 教授）</p> <p>大学での教育の質を評価するための情報基盤の重要性を静岡理工科大学の取り組みを通じて紹介します。</p>
16:00- 16:20	<p><b>【パネリスト講演②】</b> <b>「既存データシステムによるIRの取組 ～佐賀大学版IR～」</b> 只木 進一氏（佐賀大学 理工学部 教授 評価室長）</p> <p>データに基づく現状把握・課題解決が大学でも求められるようになりました。佐賀大学では、「佐賀大学版IR」という取組を通じて、事実に基づく現状把握と大学運営への活用を行なっています。評価の観点も交えて紹介します。</p>
	休憩（10分）
16:30- 17:20	<p><b>【パネルディスカッション】</b> <b>「日本の大学が生き残るためのITデータ利活用」</b> ＜コーディネータ＞ 小野 成志氏（学校法人根津育英会武蔵学園 理事 経営企画室長、CAUA会計監事） ＜パネリスト＞（五十音順） 後藤 滋樹氏（早稲田大学理工学術院 教授、CAUA会長） 只木 進一氏（佐賀大学 理工学部 教授 評価室長、CAUA運営委員） 福島 真司氏（大正大学 学長補佐 EMIR研所長 地域創生学部 教授） 船守 美穂氏（国立情報学研究所 情報社会相関研究系 准教授） 水野 信也氏（静岡理工科大学 情報学部 教授） 横山 良治氏（伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 広域・社会人万事業G 顧問）</p>
17:20- 17:30	<p><b>【クロージング】</b> 齋藤 馨氏（東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授、CAUA副会長）</p>
17:45- 19:15	<p><b>【情報交流会】（会費制）</b> ※講師との質疑、参加者同士の情報交換の場としてお役立てください。 会費：CAUA会員、大学教職員…¥1,000. その他の方…¥2,000. 会場：Innovation Space DEJIMA</p>

※予告なくプログラム、講師等が変更となる場合がございます。ご了承のほどお願い申し上げます。